

⑧ 鳥取分科会 地震対策グループ

地震対策グループのキャッチフレーズ・スローガン

顔が見えるつながりのある防災
～つながりを力に、これからもまもる～



私たちが目指す社会

- 地域住民が、自然や地域の災害リスクを知り、みんなで共有している
- 行政・企業・専門家・地域が平時から顔の見える関係で繋がっている
- 突然の地震にも地域の絆で備え、誰ひ(とり)鳥(とり)残さず守りきる

私たちの提言

1 災害から誰ひとり取り残さないために

- 専門家と一緒に、防災に関するツールやコンテンツを強化し、みんなが自然や防災対策を理解し、予防する

2 助けになる技術や経験、制度、ツール、キーアイテム

- 専門家とつながる
- 地域の歴史を知る(過去の災害発生状況等)
- 自然を理解し、災害に備える

3 次世代を担う若者へのメッセージ

- 災害を自分ごととして捉え、自分でできる防災対策について学んでほしい。
地域との絆を大切にしてほしい。

鳥取県は、1943(S18)年鳥取地震(M7.2)、1983(S58)年鳥取県中部(M6.2)、2000(H12)年鳥取県西部地震(M7.3)、2016(H28)年鳥取県中部(M6.6)と多くの被害地震発生しています。
今年(2026(R8))年1月の島根県東部の地震(M6.4)でも被害を受けるなど、地震が多い地域であることを再認識し、過去の事例に学ぶことで未来に備えて頂ければと思います。



鳥取大学工学部
教授 香川 敬生氏



参加団体 ※順不同

山陰海岸ジオパーク推進協議会／困り感を抱える子を支援する親の会 らっきょうの花／O・F・T(同)／(株)ゼンリン／関西広域連合(ジオパーク推進担当)／るりゆうーる鳥取